

亞洲服務業管理應用與未來展望國際研討會 兼 日本企業經營学会第 11 回國際學術研究大會

【研究発表】 於：A-1（11：20～）

企業經營学会-國際学会発表要旨

産学連携による人財育成の可能性に関する研究

A Study of the possibility of Human Resources Development Through Industry-Academia Collaboration

北翔大学短期大学部 田口 智子

TOMOKO TAGUCCHI
(HOKUSHO COLLEGE)

本研究は、ライフステージに適応したキャリアマネジメントの観点から産学連携による人財育成の可能性を考察する。

筆者は、これまで産学公民連携による地域マネジメントの研究を通じて、小さな組織の集合体を機能化させるためには、①コンサルタント機能、②コラボレーション機能、③カウンセリング機能の主要機能3軸が重要であることを明らかにした。本研究では、この主要機能3軸を何らかの仕組みに取り込み、多様な人財が、多様な働き方を実現するための継続的な体制に基づくキャリアマネジメントについて考察することを目的としている。

わが国の現代の産学連携による人財育成の動向として、文部科学省が強化推進する高度人財育成がある。ガイドラインを作成し、全国規模でネットワーク展開を広げている。一方で、基礎力育成の人財については、就業力育成支援事業として民間企業に委託されて長年推進されているが、実効性を生む成果は得られていない、そこには、問題点2点がある。まず1点は、就業力支援の持続的・継続的な支援体制が構築されていないこと、そして2点目には、目指すべき地点の目標づけが明確化されていないことである。換言すれば、就業力支援は、重要なキャリア形成過程にあるが、そのキャリア形成過程が断続的であり、目指すべき職能、スキルも不明確なまま曖昧性の中で運営されている。そのため、プログラムが終了すると支援は終了という、一方的な支援体制にある。

次世代人財育成の観点から、多様な人財育成を図るキャリアマネジメントの問題は重要である。

こうした背景下にあって、筆者は、「産学連携による人財育成において、長期的かつ継続的な支援体制を構築する中核機能3軸を有する職能、キャリアコンサルタントの

亞洲服務業管理應用與未來展望國際研討會 兼 日本企業經營学会第 11 回國際學術研究大會

役割機能が重要であり、精神的かつ実践的に支援しうる重要な中核機能を果たす。」という命題を見出した。筆者が長年地域連携による人材育成の可能性について取材調査を続けてきた中で、重要な機能の一つとしてキャリアコンサルタントの機能に着目した。キャリア形成過程において、継続的かつ効率的な支援体系を構築するうえで重要な心理的かつ実践的に支援を有する機能としてキャリアコンサルタントの役割機能は重要であることが判明した。

本研究では、現代の多様な人材に即した品質管理と評価の関係性を重視した産学連携による継続的な組織体制によるキャリア支援体制モデルの構築を図っていく。

<キーワード>

キャリア形成過程・持続性・品質管理・評価・連携体系